

資料編



【写真提供:一般社団法人江東区観光協会】

資料編目次

1	江東区のみどりの現状.....	127
2	区民意向調査.....	138
3	地区別の現況.....	151
4	改定の経緯.....	158
5	用語解説.....	161

1 江東区のみどりの現状

(1) 生物多様性に係る分析

- 大規模な公園・緑地や河川・運河は貴重な動植物の生息・生育空間となっており、都市化が進んだ本区においては、貴重な生きものとのふれあいの場にもなっています。
- 区内に点在するポケットエコスペースでは、東京都レッドリストに該当する種もみられます。
- トンボを指標種とした生息地のポテンシャル評価の結果からは、親水公園やポケットエコスペース内の止水域や隣接する樹林地がトンボを含め、生きものにとって良好な生息環境となっていると考えられます。



(2) 子育て・教育に係る分析

- 「田んぼの学校」や区民農園等は、こどもたちが土いじりを体験する場となっています。
- こどもたちも一緒にコミュニケーションづくりに取り組んでいる場所もあります。
- 校庭の芝生化はこどもたちの健康づくりに貢献しています。
- 小学校に併設してつくられた公園は行事や授業等で学校と一体的に利用されています。



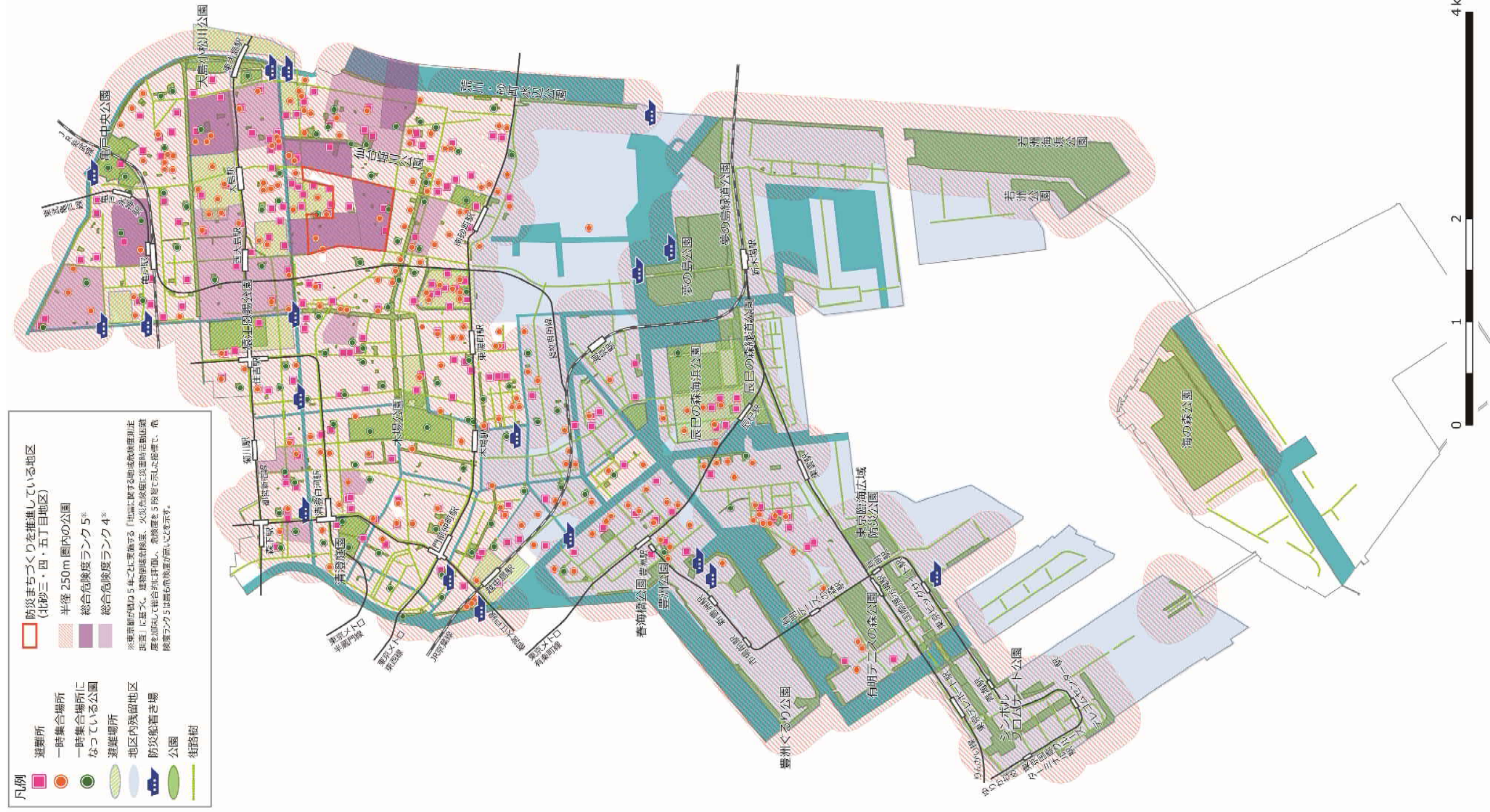
(3) コミュニティ形成に係る分析

- 公園や緑道等で、グループで花や緑を育てる「コミュニティガーデン活動」が展開されています。
- 身近な公園や水辺、住宅団地のオープンスペース等は、住民同士の交流やコミュニティづくりの場にもなっています。
- みどりに関する四季折々のイベントが開催され、地域の一体感の醸成に寄与しています。



(5) 防災・減災に係る分析

- 公園は一時集合場所や避難場所に指定されているものがあり、災害時の安全確保や復旧活動の拠点としての役割を果たしています。
- 防災船着場は、災害時には陸上交通網の補完や物資輸送経路としての役割を果たしています。



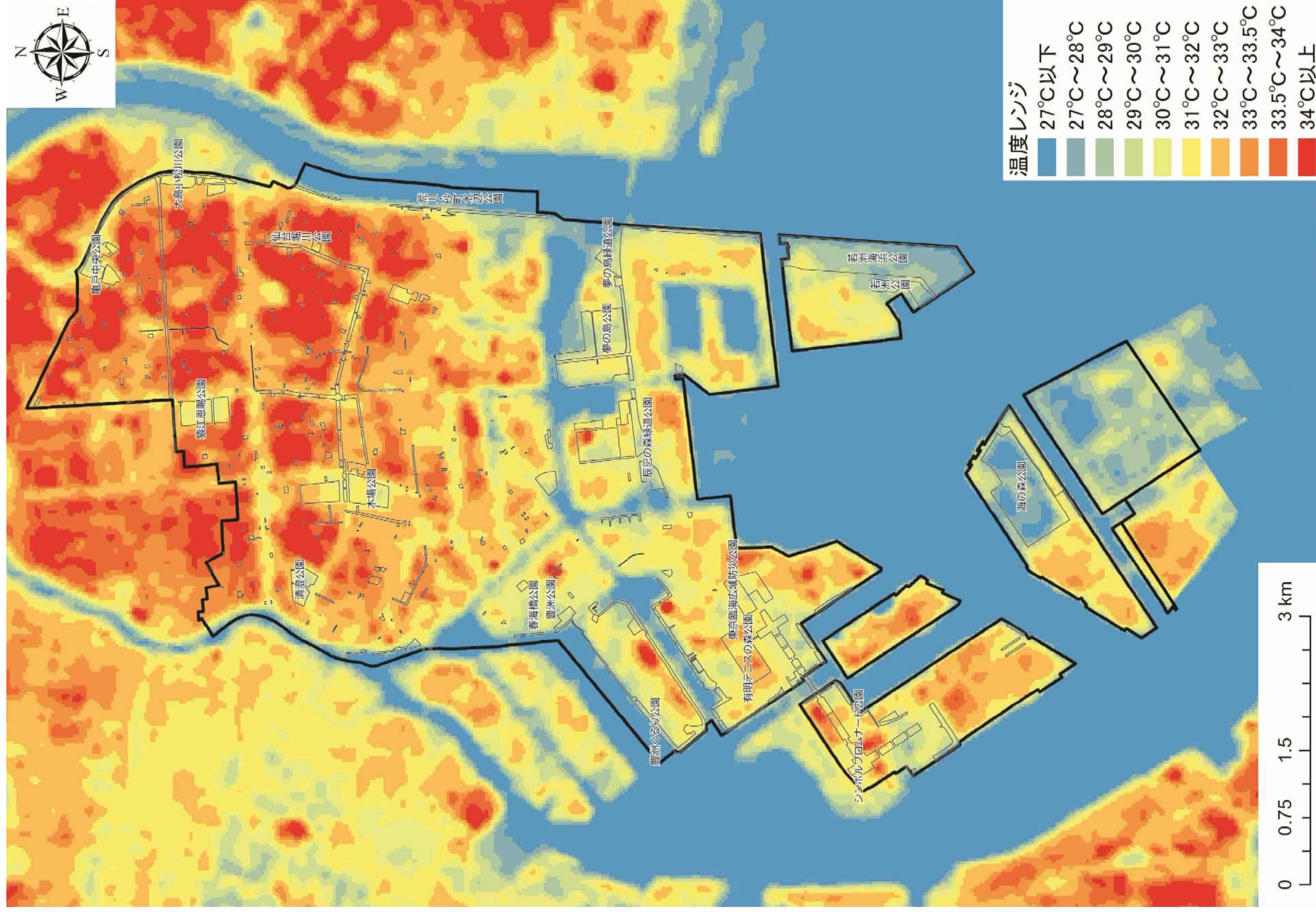
(6) 健康・福祉に係る分析

- 親水公園や水辺の散歩道・潮風の散歩道、緑道の散歩道、ウォーキング・ランニング・サイクリング等にご利用され、区民の健康づくりに貢献しています。
- 「江東区ウォーキングマップ」では、緑や花を楽しむコースが多数紹介されています。
- 公園や水辺がスポーツを楽しむ場となっています。



(9) 環境に係る分析

- 本区の夏の午前中の地表面温度の分布を示します（2024年7月5日10時15分ランドサットデータ）。
- 北部は全体的に温度が高く、南部は低い傾向にあります。
- 内部河川や大規模な公園部分にクールスポットが形成されています。



■ 出典一覧

生 物 多 様 性	・ポケットエコスペース・ビオトープ：江東区HP「ポケットエコスペース」、ビオトープ現況調書（令和5年度末） ・生きものの生息・生育状況：令和6年生物多様性調査結果 ・シオカラトンボの生息場所の特徴：河川生態系ナレッジデータベース（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課監督）／徳江義宏ら，2011，都市域のエコロジカルネットワーク計画における動物の移動分散の距離に関する考察，日本緑化工学会誌 37 巻 1 号／財団法人都市緑化技術開発機構編集，平成18年，都市のエコロジカルネットワークⅡ
子 育 て ・ 教 育	・ポケットエコスペース・ビオトープ：江東区HP「ポケットエコスペース」、ビオトープ現況調書（令和5年度末） ・区民農園：江東区HP「区民農園」 ・農業体験の場（田んぼの学校、都会の農園等）：江東区HP、ヒアリング調査等 ・コミュニティガーデン：「江東区のコミュニティガーデン」パンフレット（令和5年3月） ・校庭芝生化：公共施設緑化資料 ・小学校に隣接している公園（震災復興公園）：江東区HP「震災復興小公園」 ・公園・児童遊園：公園調書（令和6年）
コ ミ ュ ニ テ ィ 形 成	・コミュニティガーデン：「江東区のコミュニティガーデン」パンフレット（令和5年3月） ・みどりに関するイベント：江東区観光周遊MAP P.5「江東歳時記」（令和6年12月／江東区地域振興部文化観光課発行） ・住宅団地内のオープンスペース：江東区みどりと自然の基本計画（平成19年7月） ・公園：公園調書（令和6年）
歴 史 ・ 文 化	・保護樹木・保護樹林：保護樹木・保護樹林一覧表（管理課） ・観光資源・川の歴史・埋立地の歴史：こうとう文化財まっぷ ・社寺：江東区観光イラストマップ（令和6年12月／江東区地域振興部文化観光課発行） ・公園：公園調書（令和6年）
防 災 ・ 減 災	・避難所・避難場所・一時集合場所・地区内残留地区：江東区防災情報／江東区防災マップ ・防災船着場：「防災船着場整備計画＜改定版＞」平成28年1月／東京都建設局、「東京港防災船着場整備計画」平成28年3月／東京都港湾局 ・街路樹：街路樹マップ TOKYO 道路緑みどり 2024-2025（東京都建設部公園緑地部） ・半径 250m圏内に公園が不足する地域：令和4年度江東区緑被率等調査報告書のGISデータを加工 ・総合危険度ランク5及び4：「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」東京都都市整備局 ・公園：公園調書（令和6年）
健 康 ・ 福 祉	・水辺の散歩道・潮風の散歩道：江東区データブック 2024 P.24 ・隅田川テラス：隅田川テラスみどころマップ ・運動施設：江東区HP「スポーツ施設」 ・ウォーキングコース・コースの見所（みどりに関するもの）：江東区ウォーキングマップ（令和4年8月／江東区保健所健康推進課発行）
観 光 ・ に ぎ わ い	・みどりに関するイベント：江東区観光周遊MAP P.5「江東歳時記」（令和6年12月／江東区地域振興部文化観光課発行） ・みどりに関する観光資源：江東区観光イラストマップ（令和6年12月／江東区観光協会HP） ・江東区文化観光ガイド・まちあるきモデルコース：江東区文化観光ガイドHP ・ウォーキングコース・コースの見所（みどりに関するもの）：江東区ウォーキングマップ（令和4年8月／江東区保健所健康推進課発行） ・公園：公園調書（令和6年）

景 観 形 成	• 公共施設の屋上緑化・壁面緑化・校庭芝生化：公共施設緑化資料 • 景観重点地区・景観形成特別地区・景観基本軸・景観重要公共施設（河川、都市公園）：江東区景観計画 • 保護樹木・保護樹林：保護樹木・保護樹林一覧表（管理課） • 社寺：江東区観光イラストマップ（令和 6 年 12 月／江東区地域振興部文化観光課発行） • 街路樹：街路樹マップ TOKYO 道路緑みどり 2024-2025（東京都建設部公園緑地部） • 公園：公園調書（令和 6 年）
環 境	• 地表面温度：LANDSAT（2024 年 7 月 5 日午前 10 時 15 分）

2 区民意向調査

(1) アンケート実施概要

① 調査の目的

- みどりの基本計画の改定に当たり、現状・課題の整理や施策の検討に役立てることを目的として、区民意向を把握するためのアンケート調査を実施する。
- 「区民や事業者が価値を実感できるみどりを増やす」に当たり、区内のみどりが現状でどのように評価されているのかを把握し、課題の検討や今後必要な施策の検討に役立てる。
- みどりや公園に対する区民ニーズを把握し、今後の施策に反映する。
- 現行計画策定時と比較して、区民意向がどのように変化しているかを把握することにより、現行計画に基づく施策の実施効果の評価等に役立てる。

② 調査対象

- 江東区内在住の18歳以上を対象に、1,350人を無作為抽出

③ 実施期間

- 令和6年8月下旬～令和6年9月上旬

④ 実施手法

- 郵送による配布・紙・Webによる回収

⑤ 回収数・回収率

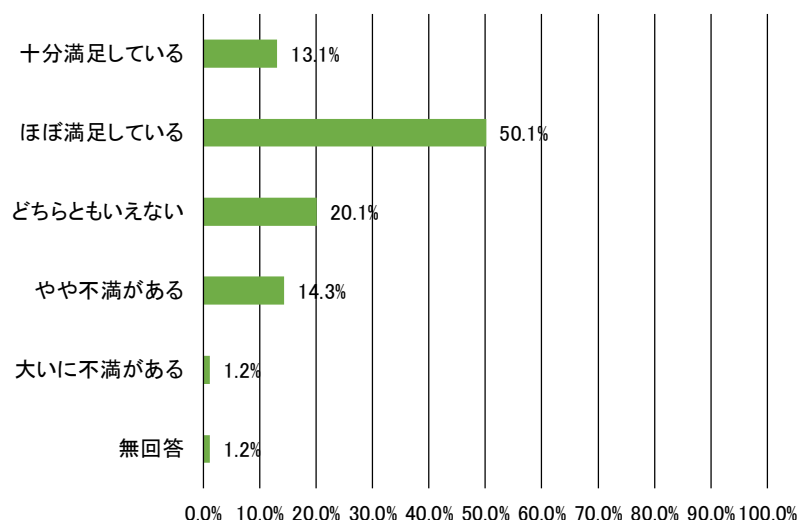
- 回収数は343票、回収率は25.4%

(2) アンケート結果

① 江東区のみどりについて

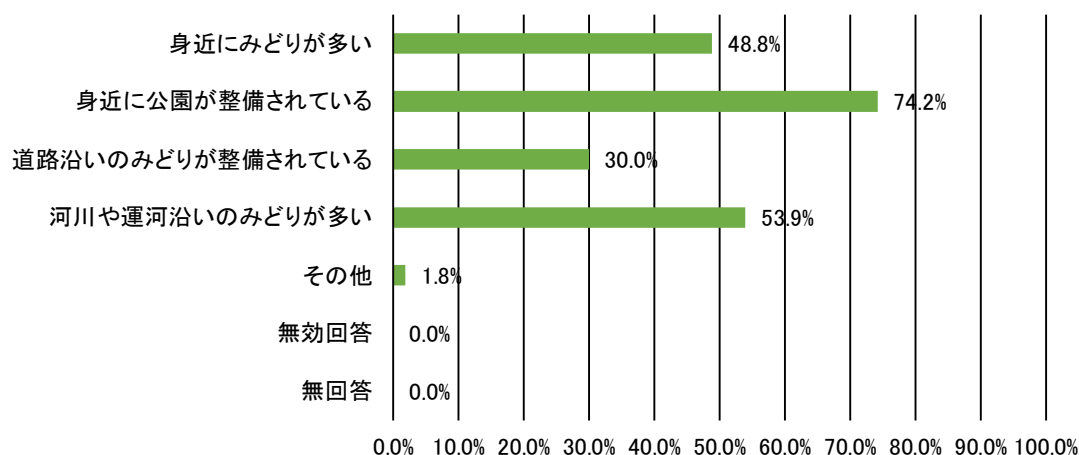
問1 あなたは区内のみどりについて満足していますか。(1つに○)

- ・ 「十分満足している」と「ほぼ満足している」の回答の合計は約63.2%であり、逆に、「やや不満である」と「大いに不満がある」の回答の合計は約15.5%となっている。
- ・ 「ほぼ満足している」の回答が最も多く、次いで「どちらとも言えない」が多くなっている。



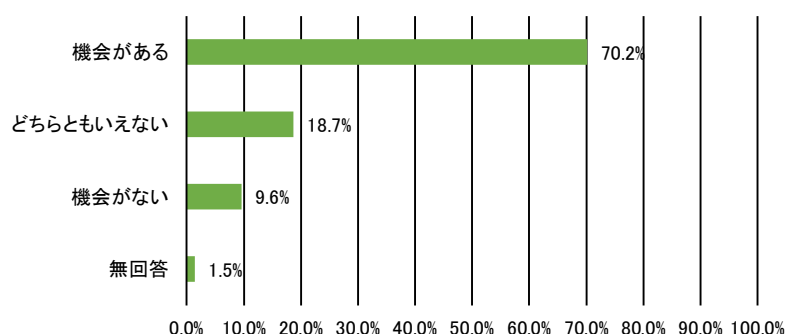
問2 問1で「1 十分満足している」、「2 ほぼ満足している」と回答した方にお伺いします。その理由はなんですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・「身近に公園が整備されている」の回答が最も多く、次いで「河川や運河沿いのみどりが多い」が多くなっている。
- ・その他の意見としては、「大きな緑地・公園があるイメージ」と回答があった。



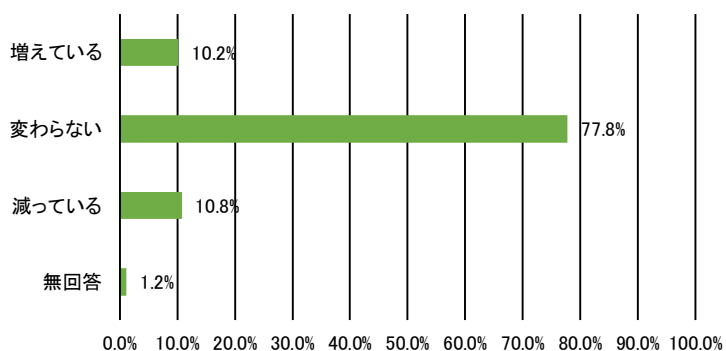
問3 区内では水辺や緑に親しむ機会があると思いますか。(1つに○)

- ・「機会がある」の回答が最も多く、次いで「どちらともいえない」の回答が多くなっており、水辺や緑に親しむ機会があると感じている人が多い。



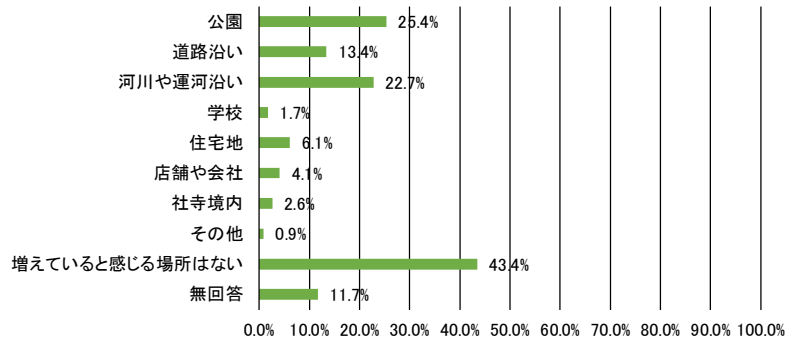
問4 あなたのお住まいのまわりのみどりの量は、増えていると思いますか。(1つに○)

- ・「変わらない」の回答が最も多く、次いで「減っている」の回答が多くなっており、みどりの変化を感じていない人が多い。



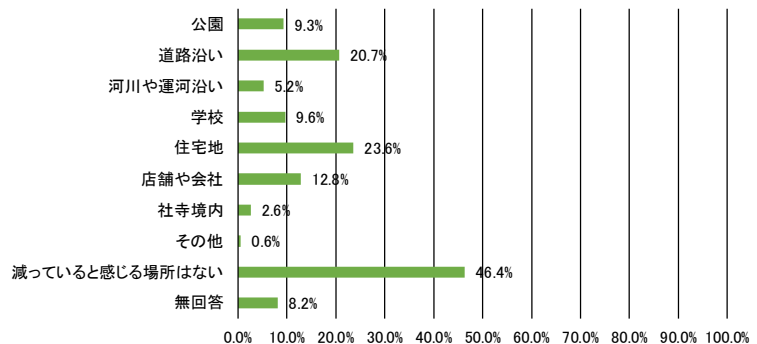
問5 みどりが増えていると感じる場所はどこですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・「増えていると感じる場所はない」の回答が最も多くなっている。
- ・みどりが増えている場所としては、「公園」が最も多く、次いで「河川や運河」、「道路沿い」が多くなっている。



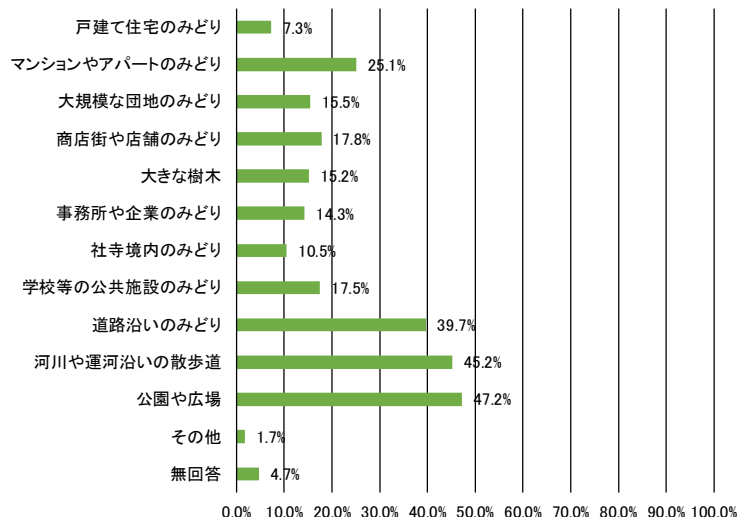
問6 みどりが減っていると感じる場所はどこですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・「減っていると感じる場所はない」の回答が最も多くなっている。
- ・みどりが減っている場所としては、「住宅地」が最も多く、次いで「道路沿い」が多くなっている。
- ・その他の意見としては、「ビル・マンションの道隣」等の回答があった。



問7 あなたのお住まいのまわりのみどりで、今後増やしていきたいみどりはどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・「公園や広場」の回答が最も多く、次いで「河川や運河沿いの散歩道」、「道路沿いのみどり」が多くなっている。
- ・一方で、「戸建て住宅のみどり」の回答が最も少なく、次いで「社寺境内のみどり」が少なくなっている。
- ・全体的な傾向として、公共空間にあるみどりを増やしていきたい意向が大きいといえる。
- ・その他の意見としては、「マンションの屋上」や「虫が増えるため増やしてほしくない」等の回答があった。



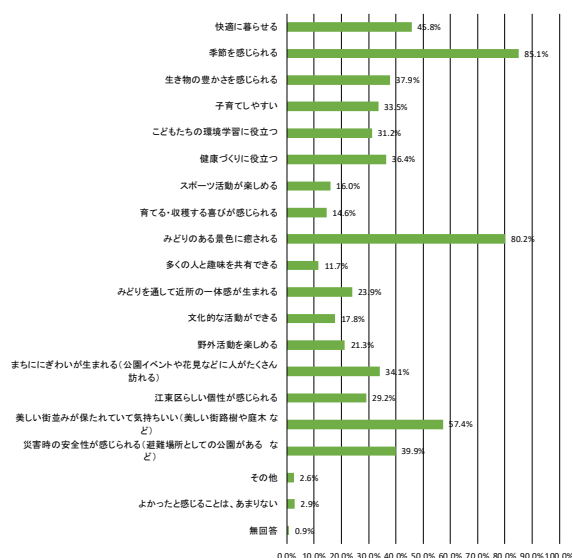
問 8 区内のみどりの中で、お気に入りの場所とその理由を教えてください。

- ・「木場公園」が最も多く 60 人、次いで「猿江恩賜公園」が 22 人、「仙台堀川公園」が 17 人であった。一方で、無回答が、「特になし」と回答した人を含めて 88 人であった。
- ・「木場公園」を回答した理由としては、「緑が多い」、「広々としている」、「四季が感じられる」といった意見があった。
- ・「猿江恩賜公園」を回答した理由としては、「日影が多い」、「桜がきれい」、「手入れされている」といった意見があった。
- ・「仙台堀川公園」を回答した理由としては、「散歩コースに良い」、「四季を感じられる」、といった意見があった。

② 暮らしの中でのみどりとのかかわりについて

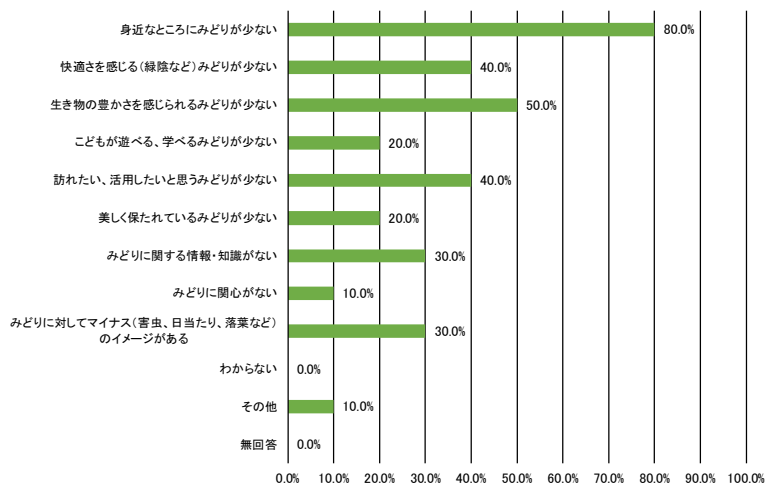
問 9 みどりがあってよかったと感じるのは、どんなときですか。（あてはまるもの全てに○）

- ・「季節を感じられる」の回答が最も多く、次いで「みどりのある景色に癒される」が多くなっており、いずれも回答割合が 80%以上となっている。
- ・「美しいまちなみが保たれていて気持ちいい」、「快適に暮らせる」の回答割合は 45%を超えている。
- ・一方で、「よかったと感じることは、あまりない」の回答は 2.9%で最も低く、95%以上の人が、何かしらみどりがあってよかったと感じている。
- ・「多くの人と趣味を共有できる」、「育てる・収穫する喜びが感じられる」、「スポーツ活動が楽しめる」、「文化的な活動ができる」の回答は 20%以下となっている。



問 10 問 9 で「19. よかったと感じることは、あまりない」に○をつけた方にお伺いします。その理由はなんですか。（あてはまるもの全てに○）

- ・「身近なところにみどりが少ない」の回答が最も多く、次いで「生き物の豊かさを感じられるみどりが少ない」が多くなっている。



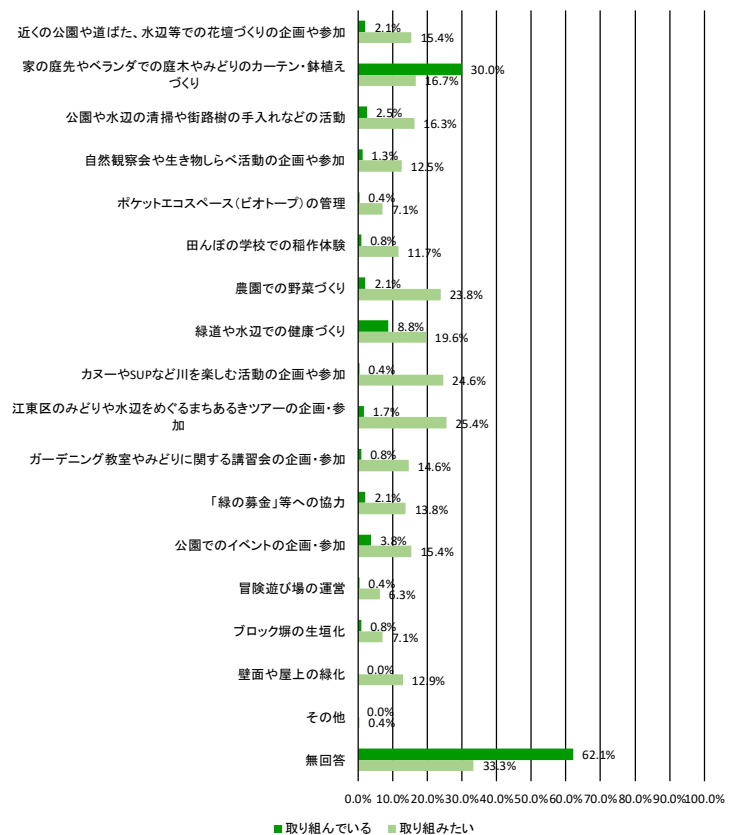
問 11 江東区らしい風景をつくっていると感じられる場所があれば教えてください。

- ・ 河川や運河等を回答する人が多く、小名木川や旧中川、仙台堀川親水公園等の具体的な場所を回答する人も多かった。
- ・ 上記の公園以外にも、木場公園や豊洲ぐるり公園を回答する人が多く、そうした緑豊かな公園が多いことを江東区らしいとする意見もみられた。

③ みどりに関する活動について

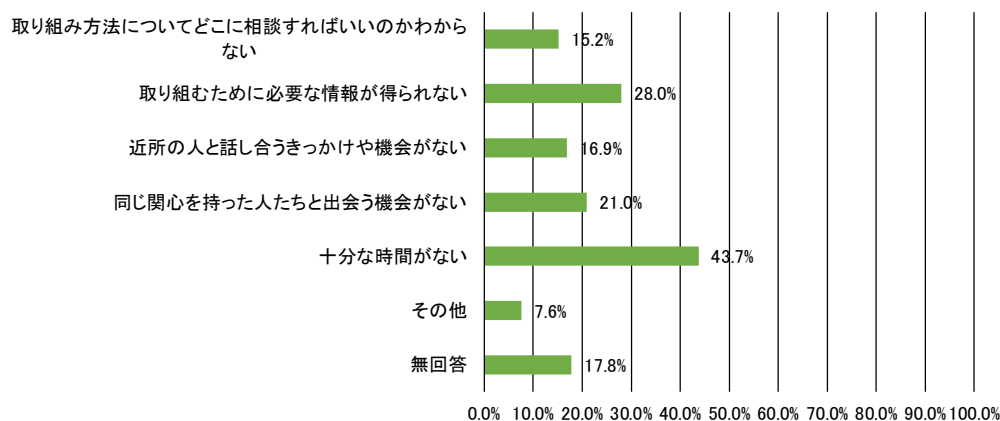
問 12 みどりによって、まちや暮らしを魅力的にするために取り組んでいること・取り組みたいことがあれば教えてください。（あてはまるもの全てに○）

- ・ 取り組んでいることについては、半数以上が無回答であった。一方で、取り組みたいことについては、無回答が 33.3%であり、約 65%の方がみどりに関する活動に組み組みたいと考えている。取り組んでいることとしては、「家の庭先やベランダでの庭木やみどりのカーテン・鉢植えづくり」が最も多く、次いで「緑道や水辺での健康づくり」が多くなっている。
- ・ 取り組みたいこととしては、「江東区のみどりや水辺をめぐるまちあるきツアーの企画」が最も多く、次いで「カヌーやSUPなど川を楽しむ活動の企画・参加」、「農園での野菜づくり」、が多くなっている。
- ・ 全体的に、取り組んでいる回答が少なかった。一方で、取り組みたいと回答している人は多くみられた。



問 13 問 12 の「取り組みたいこと」に取り組む上で妨げになっていることやすぐにそれができない理由がありますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・ 取り組む上で妨げになっている理由としては、「十分な時間がない」が最も多く、次いで「取り組むために必要な情報が得られない」が多くなっている。
- ・ その他の意見としては、高齢や病気による「体力がない」といった意見が多くあった。



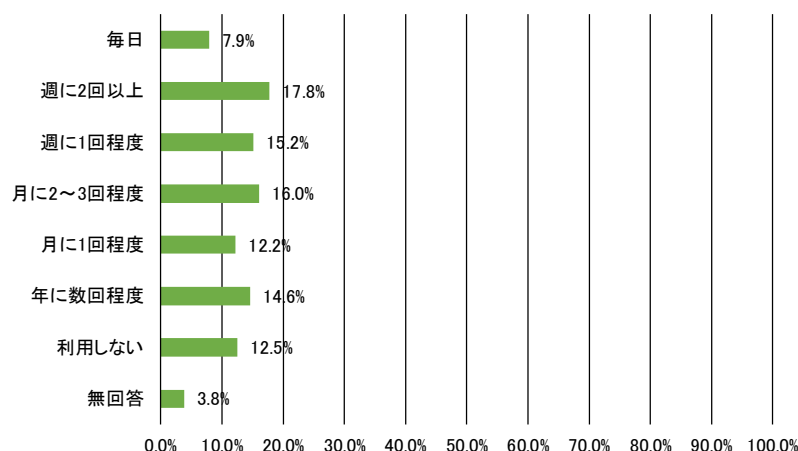
④ 公園の利用状況等について

問 14 あなたが、江東区内の公園で一番好きな公園とその理由をお書きください。

- ・ 「木場公園」の回答が最も多く、回答数の約 30%を占めていた。次いで「猿江恩賜公園」が多くなっており、「豊洲公園」が続いている。
- ・ 好きな理由としては、家からの近さ、公園の広さ、花見ができること等が共通して多くみられた。また、上位の公園では、ジョギングやウォーキング等に適していることも理由としてみられた。

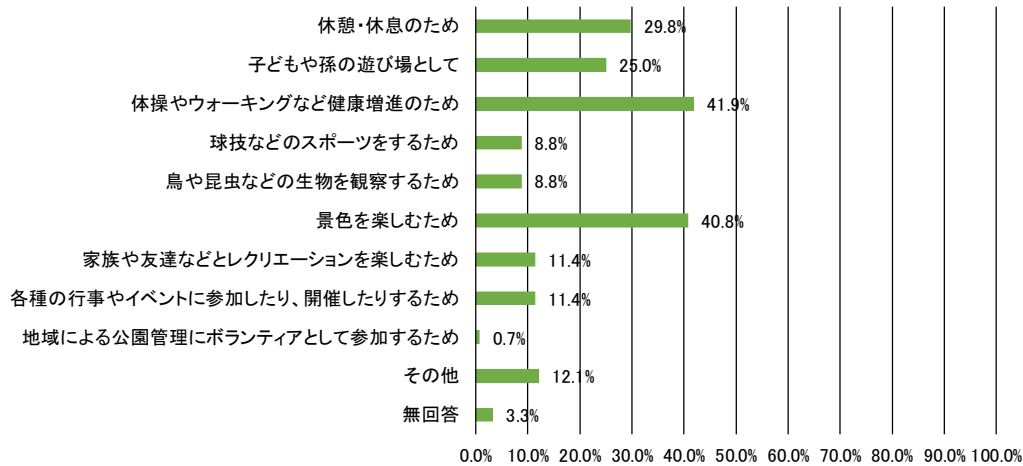
問 15 普段どのくらい公園を利用していますか。(1 つに○)

- ・ 「週に 2 回以上」の回答が最も多く、次いで「月に 2～3 回程度」が多くなっている。
- ・ 約 40%が週に 1 回以上利用していると回答しており、約 70%が月に 1 回以上利用していると回答している。



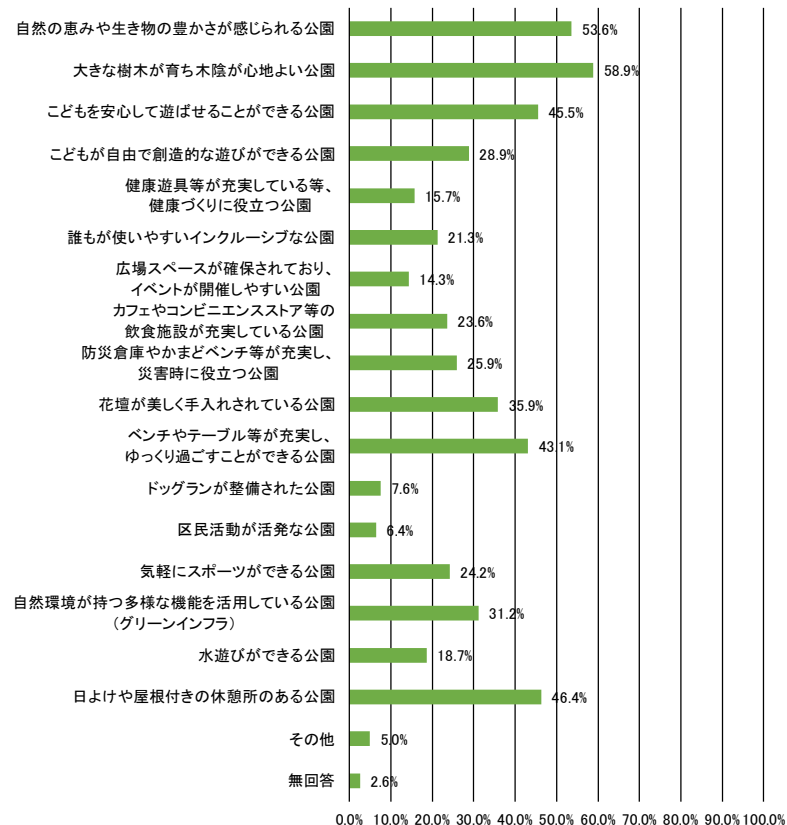
問 16 問 14 で回答した公園の主な利用目的は何ですか。

- 「体操やウォーキングなど健康増進のため」の回答が最も多く、次いで「景色を楽しむため」が多くなっている。
- その他の意見としては、犬の散歩や通勤で利用しているといった意見が多くあった。



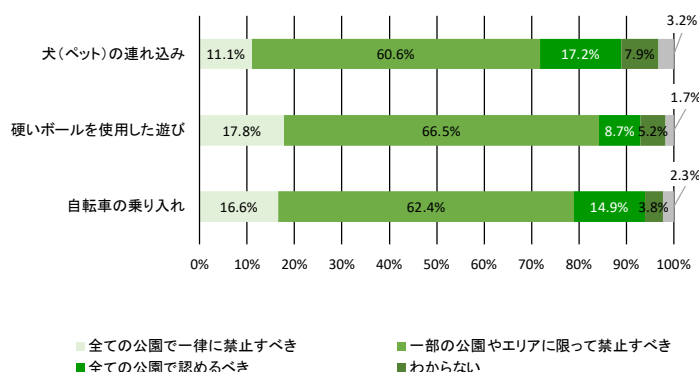
問 17 あなたにとって身近な公園は、どのような公園であることが望ましいですか。（あてはまるもの全てに○）

- 「大きな樹木が育ち木陰が心地よい公園」の回答が最も多く、次いで「自然の恵みや生き物の豊かさが感じられる公園」が多くなっており、いずれも回答割合が 50%以上となっている。
- 「ベンチやテーブル等が充実し、ゆっくり過ごすことができる公園」や「日よけや屋根付きの休憩所のある公園」も 40%以上となっており、公園内で休憩できる環境が求められている。



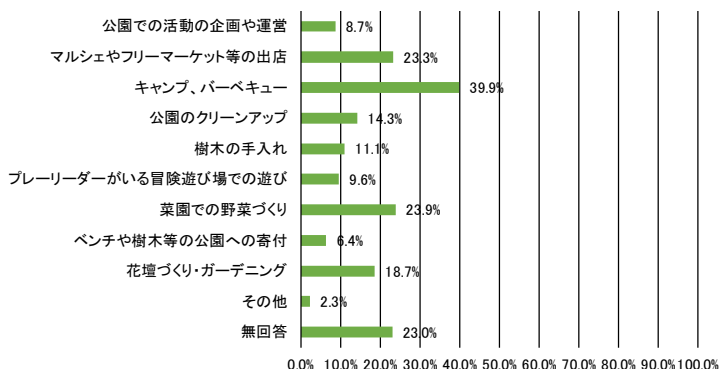
問 18 江東区では、公園や児童遊園等の利用について、禁止事項を設けています。個別の禁止事項の定め方について、どのように考えますか。(各項目につき1つに○)

- 全ての公園一律に禁止すべきこととしては、「硬いボールを使用した遊び」の回答が最も多く、次いで「自転車の乗り入れ」が多くなっている。
- 一方で、すべての公園で認めるべきこととしては、「犬の連れ込み」が最も多く、回答割合も約 20%となっている。



問 19 法律の改正等により公園活用の可能性が広がってきていますが、公園で以下のことができればやってみたいですか。

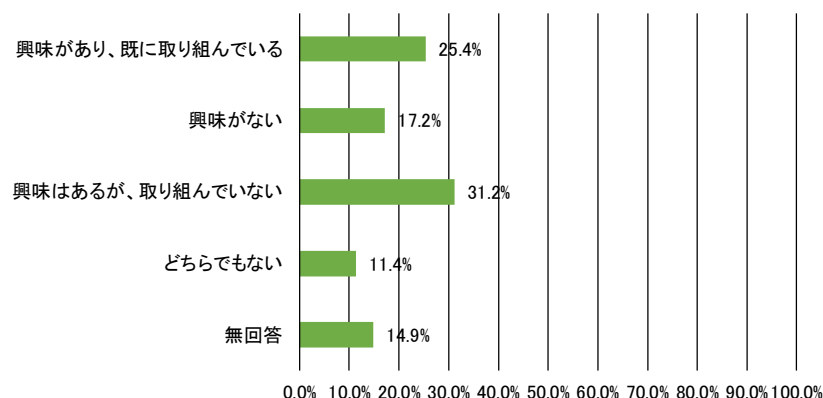
- 「キャンプ、バーベキュー」の回答が最も多く、次いで「菜園での野菜づくり」、「マルシェやフリーマーケット等の出店」が多くなっている。
- 「無回答」が23.0%となっており、70%以上の方が公園で何らかの活動をやってみたいと回答している。



⑤ みどりに関する区の施策について

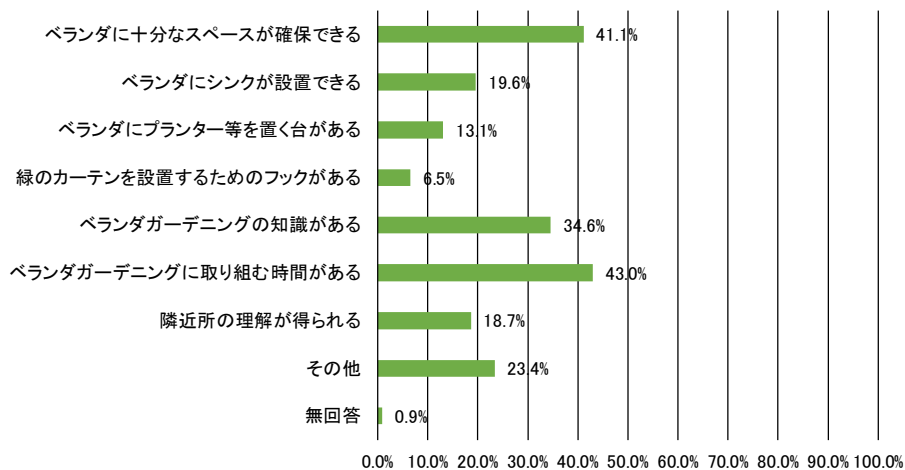
問 20 マンションやアパートにお住まいの方にお伺いします。バルコニーガーデニングに興味がありますか。(1つに○)

- 「興味があるが、取り組んでいない」の回答が最も多く、次いで「興味があり、既に取り組んでいる」が多くなっており、約 50%の方が興味をもっている。



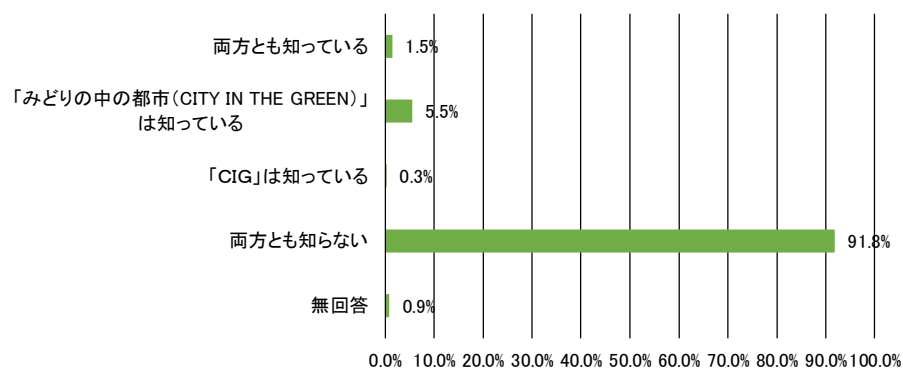
問 21 問 20 で「3 興味はあるが、取り組んでいない」に○をつけた方にお伺いします。どのような条件が整えば、ベランダガーデニングに取り組んでみようと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

- ・ 「ベランダガーデニングに取り組む時間がある」の回答が最も多く、次いで「ベランダに十分なスペースが確保できる」が多くなっており、いずれも回答割合が 40%以上となっている。
- ・ その他の意見としては、「マンションの管理規則上難しい」、「虫害や鳥害が不安」等の回答があった。



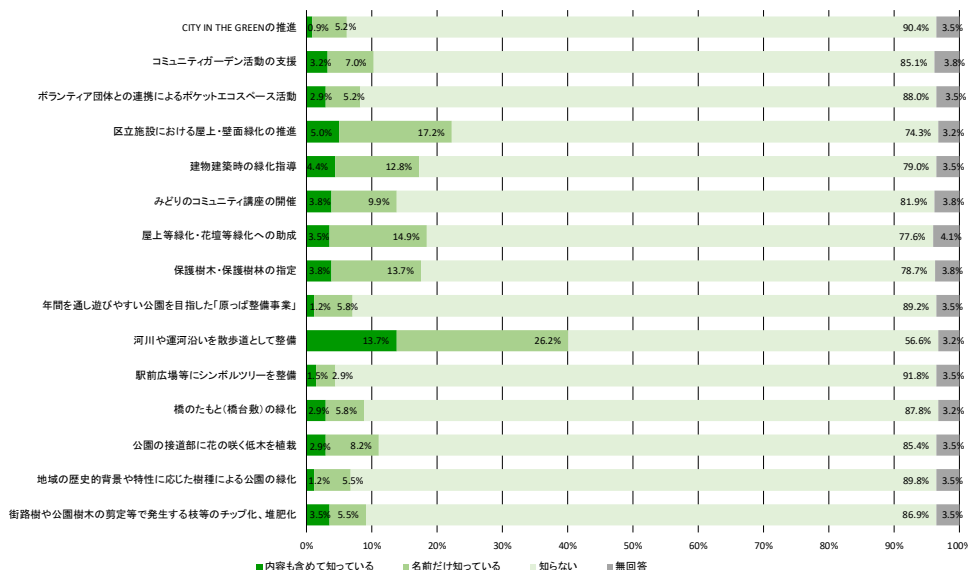
問 22 江東区が目指すみどりのまちづくりの基本となる考え方である「みどりの中の都市（CITY IN THE GREEN）」、また、「CITY IN THE GREEN」のキャッチフレーズである「C I G」をご存じですか。（1 つに○）

- ・ 「両方とも知らない」の回答が最も多く、回答割合が約 90%となっており、「みどりの中の都市（CITY IN THE GREEN）」、「CITY IN THE GREEN」が認知されていない。



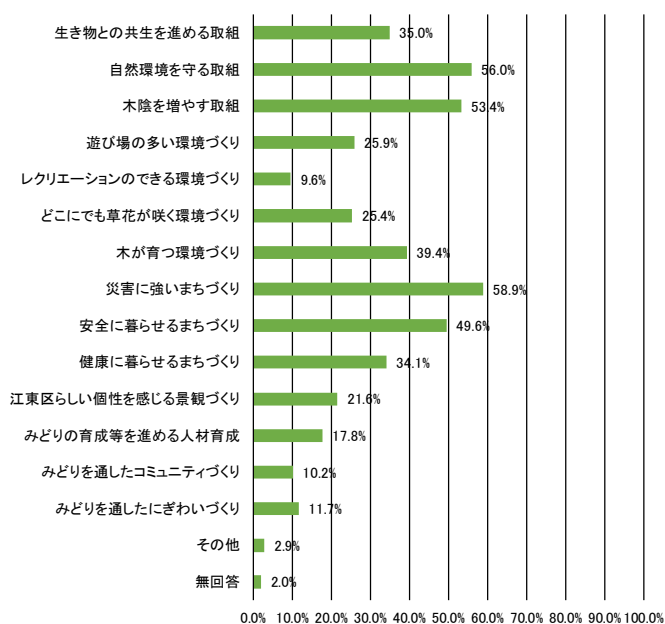
問 23 江東区では、「CITY IN THE GREEN」の実現を目指して、「緑の中の都市」をイメージした緑化推進事業を実施しています。以下のような取組をご存知ですか。（各項目につき1つに○）

- ・ 内容も含めて知っている取組は、「河川や運河沿いを散歩道として整備」が最も多いが、回答割合は13.7%であり、他の取組については、回答割合が総じて10%以下であった。
- ・ 名前だけ知っている取組をあわせても、「河川や運河沿いを散歩道として整備」のみ回答割合が30%を超えている。
- ・ 知らない取組は、「CITY IN THE GREENの推進」が最も多く約90%となっている。他の多くの取組についても、回答割合が80%以上となっている。



問 24 緑化を進める上で、どんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

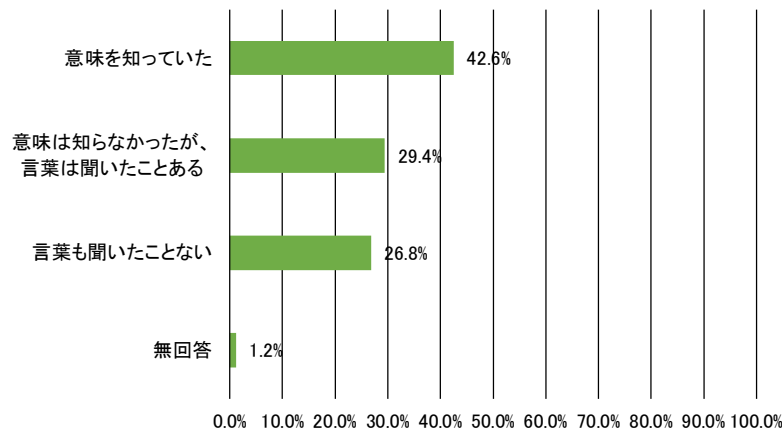
- ・ 「災害に強いまちづくり」の回答が最も多く、次いで「自然環境を守る取組」、「木陰を増やす取組」が多くなっており、いずれも回答割合が50%以上となっている。
- ・ 一方で、「みどりを通したコミュニティづくり」、「レクリエーションのできる環境づくり」「みどりを通したにぎわいづくり」の回答割合が低くなっており、15%未満となっている。



⑥ 生物多様性について

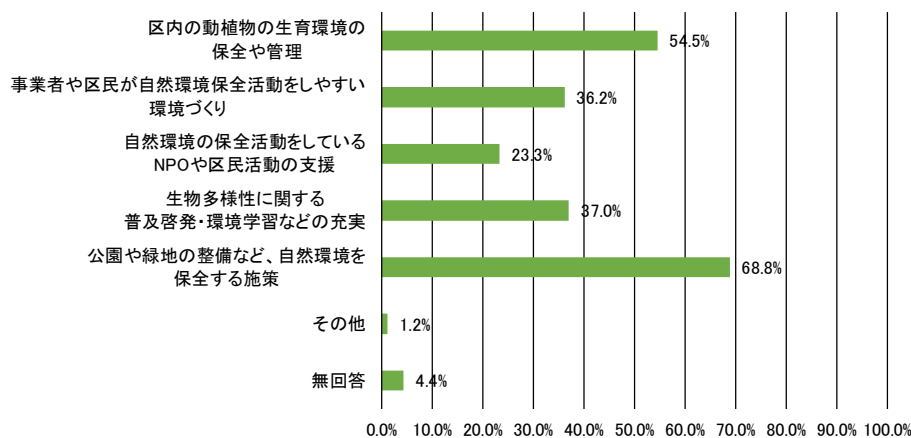
問 25 「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。
(1つに○)

- ・ 「意味を知っていた」の回答が最も多く、回答割合は約 40%となっている。
- ・ 約 70%以上の方が言葉は聞いたことがあり、比較的認知度が高い。



問 26 さまざまな自然の恵みをもたらす生物多様性を保全するために、江東区ではどのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・ 「公園や緑地の整備など、自然環境を保全する施策」の回答が最も多く、次いで「区内の動植物の生育環境の保全や管理」が多くなっており、いずれも回答割合が 50%以上となっている。



⑦ その他、みどりに対するご意見

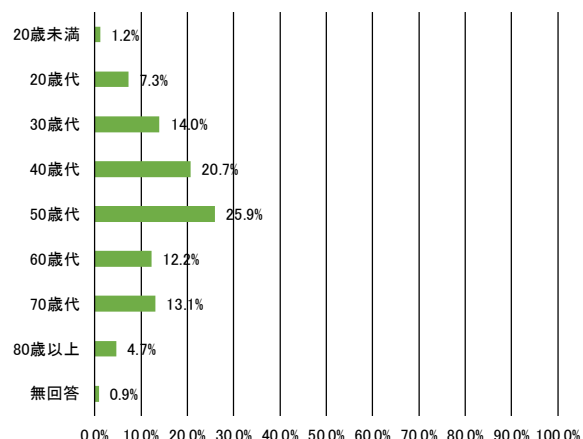
問 27 上記設問のほか、江東区のみどりに対する意見がございましたら、お聞かせください。

- ・ 芝生や落ち葉等の手入れや樹木の剪定等の「みどりの維持管理」に関する意見が最も多く、次いで「公園整備」に関する意見が多くなっている。
- ・ その他にも公園や遊歩道等にごみの不法投棄やタバコのポイ捨て等、「マナー」に関する意見や鳥のフン害等、「動物による被害対策」に関する意見も多くみられた。

⑧ 属性

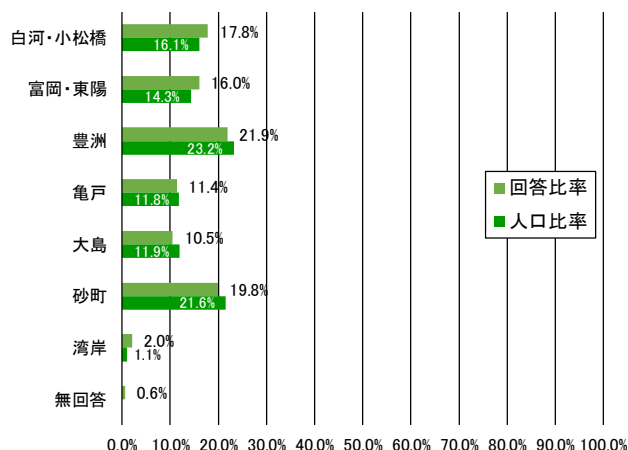
問 28 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- ・「50 歳代」の回答が最も多く、次いで「40 歳代」が多くなっている。
- ・「20 歳未満」の回答が最も少なく、次いで「80 歳以上」、「20 歳代」が少なくなっており、いずれの回答割合も 10%未満となっている。
- ・20 歳代以下の回答が少ないものの、各年代から比較的バランスよく回答が得られている。



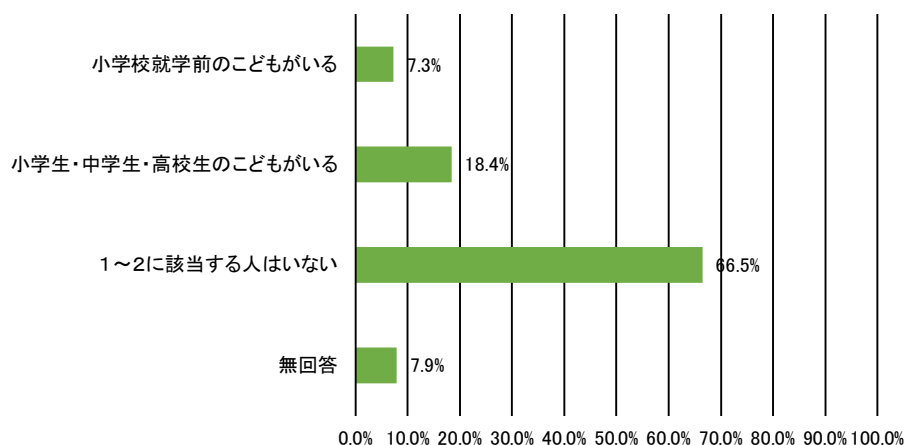
問 29 あなたのお住まいは、次のうちどちらですか。

- ・「豊洲」の回答が最も多く 21.9%となっており、次いで「砂町」が 19.8%と多くなっている。一方で、「湾岸」の回答が最も少なく 2.0%となっており、次いで「大島」の回答が少なくなっている。
- ・地区別の人口比率と、回答比率を比較すると概ね同様の傾向となっている。



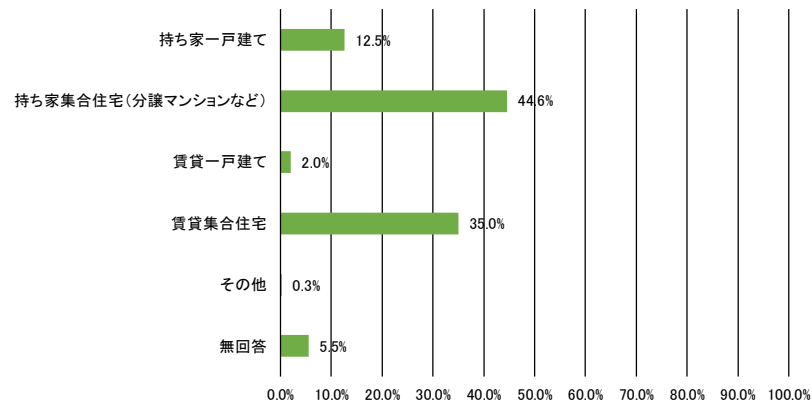
問 30 あなたを含め、現在同居されているご家族について、あてはまるものをお答えください。

- ・18 歳未満のこどもがいる回答割合が、25.7%となっている。
- ・「小学生・中学生・高校生のこどもがいる」の回答が 18.4%、「小学校就学前のこどもがいる」の回答が 7.3%となっている。



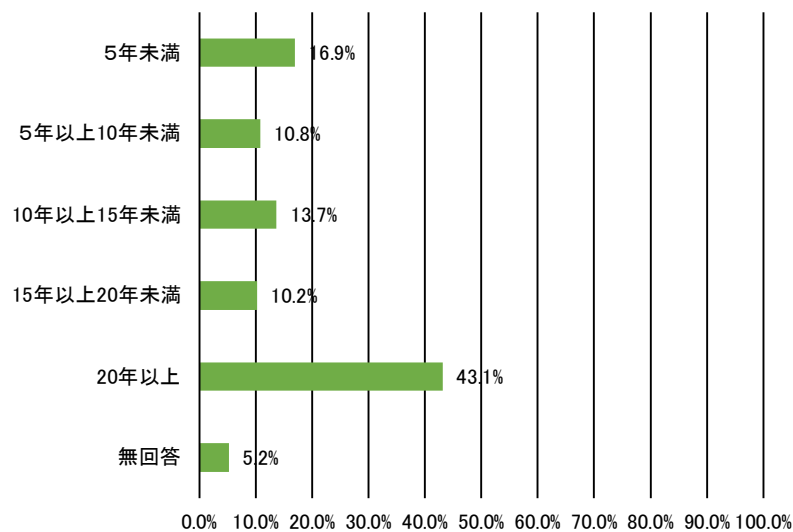
問 31 現在お住まいの住居形態は次のうちどれですか。(1 つに○)

- ・ 「持ち家集合住宅」の回答が最も多く、次いで「賃貸集合住宅」が多くなっている。
- ・ 一戸建ての回答が 14.5%、集合住宅の回答が 79.6%となっている。



問 32 江東区に住んでどれくらいになりますか。(1 つに○)

- ・ 「20 年以上」の回答が最も多く 43.1%となっており、次いで「5 年未満」が多くなっている。
- ・ 「20 年以上」の回答が多いが、比較的バランスよく回答が得られている。



3 地区別の現況

(1) 地区別の概況

地区	概 況
深川北部地区	人口は 86,742 人、人口密度は 233.4 人/ha です。 河川によって地区の境界が区切られ、地区内には河川が縦横に流れています。 江戸初期からの伝統文化を受け継ぐ数多くの社寺境内や価値の高い橋等、歴史的資源を有しています。 都立猿江恩賜公園や都立木場公園はかつての貯木場跡地に整備された公園で、みどりがまとまって存在しています。 緑被率、緑視率ともに 6 地区中で最も低くなっています。
深川南部地区	人口は 77,162 人、人口密度は 187.4 人/ha です。 河川・運河によって地区の境界が区切られ、地区内には河川・運河が縦横に流れています。 都立木場公園と河川を利用した親水公園を中心にみどりがまとまって存在しています。 富岡八幡宮及び深川不動堂が位置する深川界隈は江戸町人文化の中心地として栄え、現在も当時の面影を残しています。 緑被率は区全体と比べて低く、緑視率は区平均値と比べて低くなっています。
城東北部地区	人口は 128,010 人、人口密度は 266.1 人/ha です。 河川によって墨田区、江戸川区、地区の境界が区切られ、中央を東西に竪川が流れています。 亀戸天神社等の社寺が集積しています。 都立亀戸中央公園、都立大島小松川公園や旧中川水辺公園を中心に、みどりがまとまって存在しています。 緑被率は区全体と比べて低く、緑視率は区平均値と比べて低くなっています。
城東南部地区	人口は 116,247 人、人口密度は 239.1 人/ha です。 河川によって地区の境界が区切られています。 明治後期から大規模工場が数多く立地し、昭和 40 年代以降、公的住宅団地へと変わりました。近年では工場や倉庫等がマンションへ土地利用転換されています。 仙台堀川公園にみどりがまとまって存在しています。 緑被率は区全体と比べて低く、緑視率は区平均値と比べて低くなっています。
南部地区（南部地区西・南部地区東）	人口は 125,197 人、人口密度は 110.8 人/ha です。 東京湾に面し、地区内には運河が縦横に流れています。 工場や倉庫等が多く立地していましたが、土地利用転換に伴う再開発により、公園・緑地や街路樹を確保し、みどりに囲まれた街区が整備され、超高層住宅が立地しています。 東京 2020 大会の競技会場が集積しています。 緑被率は区全体と比べて高く、緑視率は区平均値と比べて高くなっています。
湾岸地区	人口は 5,750 人、人口密度は 4.1 人/ha です。 東京湾、荒川に面し、地区内には運河が流れています。 ごみの最終処分場を整備した都立夢の島公園、都立海の森公園、東京湾に面した都立若洲海浜公園等の公園があります。 東京 2020 大会の競技会場が集積しています。 緑被率は、区全体と比べて高く、6 地区中で最も高くなっており、緑視率は、区平均値と比べて高くなっています。

注) 人口は令和 6 年 1 月 1 日現在の人数

(2) 地区別のみどりに関する指標

① 深川北部地区

		江東区全域	深川北部地区
地域面積		4,299.0ha	371.6ha (対区全体 8.64%)
人口〈令和6年〉		539,108人	86,742人 (対区全体 16.09%)
人口密度〈令和6年〉		125.4人/ha	233.4人/ha (6地区中3番目)
土地利用 〈令和3年度 江東区土地利用現 況調査報告書〉	公共系	8.6%	7.3% (6地区中6番目)
	商業系	9.8%	10.9% (6地区中4番目)
	住宅系	15.5%	29.8% (6地区中3番目)
	工業系	12.4%	6.5% (6地区中2番目)
	空地系	20.8%	14.5% (6地区中3番目)
	道路	19.3%	22.8% (6地区中1番目)
	鉄道港湾	2.1%	1.8% (6地区中5番目)
	河川水部	11.5%	6.4% (6地区中5番目)
主要幹線道路	南北方向	—	清澄通り、三ツ目通り、四ツ目通り
	東西方向	—	新大橋通り、清洲橋通り
主要公共施設		—	東京都現代美術館、ティアラこうとう(江東公会堂)、森下文化センター、芭蕉記念館(分館)、深川江戸資料館(白河出張所)、田河水泡・のらくろ館、こどもプラザ、深川保健相談所、小松橋出張所(小松橋区民館)、男女共同参画推進センター(パルシティ江東)
公的住宅団地		—	木場公園住宅、千石一丁目アパート、千田アパート、高橋アパート、森下三丁目アパート等
歴史的資源の有無		—	清澄庭園一帯にある多数の社寺
避難地		—	猿江恩賜公園一帯、清澄庭園、木場公園一帯
地震に関する地域危険性		—	ランク4: 常盤二丁目、三好二丁目、森下四丁目、海辺
緑被(視)状況 〈令和4年度みどりの 実態調査報告書〉	樹木割合	11.79%	12.16% (6地区中3番目)
	草地割合	8.27%	1.80% (6地区中6番目)
	屋上緑化樹木割合	0.19%	0.16% (6地区中5番目)
	屋上緑化草地割合	0.76%	0.35% (6地区中6番目)
	水面面積	531.18ha	24.81ha (6地区中5番目)
	緑被率	21.01%	14.48% (6地区中6番目)
	みどり率	37.54%	25.08% (6地区中5番目)
	緑視率	17.2%	11.7% (6地区中6番目)
公園 (児童遊園を含む)	箇所数	298箇所	52箇所
	面積	515.1ha	41.7ha
ポケットエコスペース		52箇所	8箇所
緑・自然の満足度		63.2%	63.9% (61人中39人)

② 深川南部地区

		江東区全域	深川南部地区
地域面積		4,299.0ha	411.7ha（対区全体 9.58％）
人口〈令和 6 年〉		539,108 人	77,162 人（対区全体 14.31％）
人口密度〈令和 6 年〉		125.4 人/ha	187.4 人/ha（6 地区中 4 番目）
土地利用 〈令和 3 年度 江東区土地利用現 況調査報告書〉	公共系	8.6％	11.1％（6 地区中 1 番目）
	商業系	9.8％	15.3％（6 地区中 1 番目）
	住宅系	15.5％	24.7％（6 地区中 4 番目）
	工業系	12.4％	5.3％（6 地区中 5 番目）
	空地系	20.8％	11.0％（6 地区中 6 番目）
	道路	19.3％	21.8％（6 地区中 3 番目）
	鉄道港湾	2.1％	2.1％（6 地区中 3 番目）
	河川水部	11.5％	8.6％（6 地区中 4 番目）
主要幹線道路	南北方向	—	清澄通り、三ツ目通り、四ツ目通り
	東西方向	—	葛西橋通り、永代通り、首都高 9 号線
主要公共施設		—	江東区役所、江東区文化センター、教育センター（東陽図書館）、古石場文化センター（古石場図書館）、江東区保健所（健康センター）、富岡区民館（富岡出張所）、東陽区民館、道路事務所、江東区福祉事務所保護第一課
公的住宅団地		—	牡丹二丁目アパート、越中島三丁目アパート、木場三丁目パークハイツ、東陽四丁目アパート、東陽三丁目アパート、東陽一丁目アパート、州崎弁天町アパート等
歴史的資源の有無		—	富岡八幡宮や深川不動堂等の多数ある社寺、明治丸
避難地		—	東京海洋大学一帯、木場公園一帯
地震に関する地域危険性		—	ランク 5、ランク 4：ともに該当なし
緑被（視）状況 〈令和 4 年度みどりの 実態調査報告書〉	樹木割合	11.79％	13.45％（6 地区中 1 番目）
	草地割合	8.27％	3.33％（6 地区中 5 番目）
	屋上緑化樹木割合	0.19％	0.20％（6 地区中 3 番目）
	屋上緑化草地割合	0.76％	0.66％（6 地区中 3 番目）
	水面面積	531.18ha	35.76ha（6 地区中 4 番目）
	緑被率	21.01％	17.64％（6 地区中 3 番目）
	みどり率	37.54％	29.30％（6 地区中 3 番目）
	緑視率	17.2％	15.0％（6 地区中 3 番目）
公園 （児童遊園を含む）	箇所数	298 箇所	52 箇所
	面積	515.1ha	41.7ha
ポケットエコスペース		52 箇所	8 箇所
緑・自然の満足度		63.2％	70.9％（55 人中 39 人）

③ 城東北部地区

		江東区全域	城東北部地区
地域面積		4,299.0ha	481.0ha（対区全体 11.19％）
人口〈令和 6 年〉		539,108 人	128,010 人（対区全体 23.74％）
人口密度〈令和 6 年〉		125.4 人/ha	266.1 人/ha（6 地区中 1 番目）
土地利用 〈令和 3 年度 江東区土地利用現 況調査報告書〉	公共系	8.6％	8.7％（6 地区中 3 番目）
	商業系	9.8％	11.0％（6 地区中 3 番目）
	住宅系	15.5％	37.1％（6 地区中 1 番目）
	工業系	12.4％	4.2％（6 地区中 6 番目）
	空地系	20.8％	11.4％（6 地区中 5 番目）
	道路	19.3％	22.1％（6 地区中 2 番目）
	鉄道港湾	2.1％	3.1％（6 地区中 1 番目）
	河川水部	11.5％	2.5％（6 地区中 6 番目）
主要幹線道路	南北方向	—	明治通り、丸八通り、番所橋通り
	東西方向	—	蔵前橋通り、京葉道路、新大橋通り
主要公共施設		—	カメラiapラザ（亀戸文化センター、商工情報センター、亀戸出張所）、青少年交流プラザ、総合区民センター（大島出張所）、東大島文化センター、城東保健相談所、中川船番所資料館、江東区福祉事務所保護第二課
公的住宅団地		—	大島四丁目団地、大島六丁目団地、亀戸二丁目団地、亀戸七丁目アパート、大島五丁目第二アパート 等
歴史的資源の有無		—	亀戸天神社や香取神社等の多数ある社寺
避難地		—	亀戸中央公園、亀戸二丁目団地一帯、亀戸・大島・小松川地区、大島・北砂団地一帯
地震に関する地域危険性		—	ランク 5：亀戸五丁目、大島七丁目 ランク 4：大島一丁目、大島二丁目、大島三丁目、大島八丁目、亀戸三丁目
緑被（視）状況 〈令和 4 年度みどりの 実態調査報告書〉	樹木割合	11.79％	10.26％（6 地区中 6 番目）
	草地割合	8.27％	4.48％（6 地区中 3 番目）
	屋上緑化樹木割合	0.19％	0.19％（6 地区中 4 番目）
	屋上緑化草地割合	0.76％	0.68％（6 地区中 2 番目）
	水面面積	531.18ha	10.08ha（6 地区中 6 番目）
	緑被率	21.01％	15.60％（6 地区中 5 番目）
	みどり率	37.54％	21.60％（6 地区中 6 番目）
	緑視率	17.2％	14.3％（6 地区中 5 番目）
公園 （児童遊園を含む）	箇所数	298 箇所	63 箇所
	面積	515.1ha	40.5ha
ポケットエコスペース		52 箇所	14 箇所
緑・自然の満足度		63.2％	58.7％（75 人中 44 人）

④ 城東南部地区

		江東区全域	城東南部地区
地域面積		4,299.0ha	486.1ha（対区全体 11.31％）
人口〈令和 6 年〉		539,108 人	116,247 人（対区全体 21.56％）
人口密度〈令和 6 年〉		125.4 人/ha	239.1 人/ha（6 地区中 2 番目）
土地利用 〈令和 3 年度 江東区土地利用現 況調査報告書〉	公共系	8.6％	7.8％（6 地区中 4 番目）
	商業系	9.8％	10.2％（6 地区中 5 番目）
	住宅系	15.5％	36.4％（6 地区中 2 番目）
	工業系	12.4％	5.6％（6 地区中 4 番目）
	空地系	20.8％	12.6％（6 地区中 4 番目）
	道路	19.3％	17.8％（6 地区中 5 番目）
	鉄道港湾	2.1％	0.9％（6 地区中 6 番目）
	河川水部	11.5％	8.8％（6 地区中 3 番目）
主要幹線道路	南北方向	—	明治通り、丸八通り、番所橋通り
	東西方向	—	清洲橋通り、葛西橋通り、永代通り
主要公共施設		—	砂町出張所（砂町区民館）、南砂出張所（南砂区民館）、砂町文化センター（砂町図書館）、江東図書館、城東南部保健相談所、旧大石家住宅、東京大空襲・戦災資料センター
公的住宅団地		—	北砂五丁目団地、東砂二丁目アパート、北砂七丁目団地、南砂五丁目アパート、東砂七丁目アパート、南砂三丁目アパート、南砂二丁目住宅、東砂八丁目第二アパート 等
歴史的資源の有無		—	富賀岡八幡宮や持宝院等の社寺、旧大石家住宅
避難地		—	大島・北砂団地一帯、都営東砂二丁目住宅一帯、公社南砂二丁目団地一帯、南砂三丁目公園一帯
地震に関する地域危険性		—	ランク 5：北砂三丁目、北砂四丁目、北砂六丁目、東砂五丁目 ランク 4：東砂三丁目、東砂四丁目、南砂四丁目
緑被（視）状況 〈令和 4 年度みどりの 実態調査報告書〉	樹木割合	11.79％	11.14％（6 地区中 5 番目）
	草地割合	8.27％	4.28％（6 地区中 4 番目）
	屋上緑化樹木割合	0.19％	0.26％（6 地区中 2 番目）
	屋上緑化草地割合	0.76％	0.48％（6 地区中 5 番目）
	水面面積	531.18ha	45.57ha（6 地区中 3 番目）
	緑被率	21.01％	16.16％（6 地区中 4 番目）
	みどり率	37.54％	26.32％（6 地区中 4 番目）
	緑視率	17.2％	14.6％（6 地区中 4 番目）
公園 （児童遊園を含む）	箇所数	298 箇所	65 箇所
	面積	515.1ha	26.3ha
ポケットエコスペース		52 箇所	12 箇所
緑・自然の満足度		63.2％	64.7％（68 人中 44 人）

⑤ 南部地区（南部地区西・南部地区東）

		江東区全域	南部地区
地域面積		4,299.0ha	1,129.8ha（対区全体 26.28％）
人口〈令和 6 年〉※		539,108 人	125,197 人（対区全体 23.22％）
人口密度〈令和 6 年〉		125.4 人/ha	110.8 人/ha（6 地区中 5 番目）
土地利用 〈令和 3 年度 江東区土地利用現 況調査報告書〉	公共系	8.6％	9.8％（6 地区中 2 番目）
	商業系	9.8％	14.6％（6 地区中 2 番目）
	住宅系	15.5％	11.6％（6 地区中 5 番目）
	工業系	12.4％	6.3％（6 地区中 3 番目）
	空地系	20.8％	19.9％（6 地区中 2 番目）
	道路	19.3％	17.3％（6 地区中 6 番目）
	鉄道港湾	2.1％	2.0％（6 地区中 4 番目）
	河川水部	11.5％	18.6％（6 地区中 1 番目）
主要幹線道路	南北方向	—	晴海通り、三つ目通り、首都高 9 号線
	東西方向	—	国道 357 号、首都高湾岸線
主要公共施設		—	豊洲シビックセンター（豊洲特別出張所、豊洲文化センター、豊洲図書館）、深川南部保健相談所、枝川区民館、えこっくる江東、建替支援用貸工場、水辺と緑の事務所、江東区清掃事務所、東京都東京港建設事務所、東京都交通局東雲庁舎、東雲図書館、東京ビックサイト（東京国際展示場）、有明清掃工場、東京都水の科学館、ガスの科学館、東京みなと館、虹の下水道館、船の科学館、日本科学未来館、東京都下水道局有明水再生センター、東京テレポートセンター
公的住宅団地		—	塩浜一丁目アパート、塩浜二丁目アパート、塩浜二丁目第 2 アパート、塩浜二丁目第 4 アパート、ヴェッセル木場南、枝川三丁目アパート、枝川一丁目第 2 アパート、豊洲四丁目アパート、豊洲四丁目団地、潮見一丁目アパート、辰巳一丁目アパート、東雲キャナルコート CODAN、東雲一丁目アパート等
歴史的資源の有無		—	—
避難地		—	辰巳団地、潮見運動公園一帯、その他は地区内残留地区
地震に関する地域危険性		—	ランク 5、ランク 4：ともに該当なし
緑被（視）状況 〈令和 4 年度みどりの実態調査報告書〉	樹木割合	11.79％	12.50％（6 地区中 2 番目）
	草地割合	8.27％	7.24％（6 地区中 2 番目）
	屋上緑化樹木割合	0.19％	0.34％（6 地区中 1 番目）
	屋上緑化草地割合	0.76％	1.47％（6 地区中 1 番目）
	水面面積	531.18ha	215.83ha（6 地区中 1 番目）
	緑被率	21.01％	21.55％（6 地区中 2 番目）
	みどり率	37.54％	48.7％（6 地区中 1 番目）
	緑視率	17.2％	23.3％（6 地区中 1 番目）
公園 （児童遊園を含む）	箇所数	298 箇所	53 箇所
	面積	515.1ha	148.2ha
ポケットエコスペース		52 箇所	10 箇所
緑・自然の満足度		63.2％	64.0％（75 人中 48 人）

※ 東雲二丁目および有明三丁目は全て南部地区に含む

⑥ 湾岸地区

		江東区全域	湾岸地区
地域面積		4,299.0ha	1,418.8ha（対区全体 33.00％）
人口〈令和 6 年〉※		539,108 人	5,750 人（対区全体 1.07％）
人口密度〈令和 6 年〉		125.4 人/ha	4.1 人/ha（6 地区中 6 番目）
土地利用 〈令和 3 年度 江東区土地利用現 況調査報告書〉	公共系	8.6％	7.8％（6 地区中 5 番目）
	商業系	9.8％	4.3％（6 地区中 6 番目）
	住宅系	15.5％	0.1％（6 地区中 6 番目）
	工業系	12.4％	24.1％（6 地区中 1 番目）
	空地系	20.8％	30.4％（6 地区中 1 番目）
	道路	19.3％	18.9％（6 地区中 4 番目）
	鉄道港湾	2.1％	2.3％（6 地区中 2 番目）
	河川水部	11.5％	12.0％（6 地区中 2 番目）
主要幹線道路	南北方向	—	明治通り
	東西方向	—	国道 357 号線、首都高湾岸線
主要公共施設		—	砂町水再生センター、新江東清掃工場、東京都港湾局東京ヘリポート、東京都環境科学研究所、BumB 東京スポーツ文化館
公的住宅団地		—	—
歴史的資源の有無		—	—
避難地		—	全区域が地区内残留地区
地震に関する地域危険性		—	ランク 5、ランク 4：ともに該当なし
緑被（視）状況 〈令和 4 年度みどりの 実態調査報告書〉	樹木割合	11.79％	11.46％（6 地区中 4 番目）
	草地割合	8.27％	14.66％（6 地区中 1 番目）
	屋上緑化樹木割合	0.19％	0.05％（6 地区中 6 番目）
	屋上緑化草地割合	0.76％	0.5％（6 地区 4 番目）
	水面面積	531.18ha	199.13ha（6 地区中 2 番目）
	緑被率	21.01％	26.67％（6 地区中 1 番目）
	みどり率	37.54％	44.08％（6 地区中 2 番目）
	緑視率	17.2％	21.3％（6 地区中 2 番目）
公園 （児童遊園を含む）	箇所数	298 箇所	16 箇所
	面積	515.1ha	227.5ha
ポケットエコスペース		52 箇所	1 箇所
緑・自然の満足度		63.2％	42.9％（7 人中 3 人）

※ 新砂三丁目は全て湾岸地区に含む、東雲二丁目および有明三丁目は全て南部地区に含む

4 改定の経緯

(1) 江東区長期計画と江東区みどりの基本計画



(2) 検討体制

① 関係会議

- 江東区みどりの基本計画後期改定委員会：改定案の取りまとめを行う。
- 江東区みどりの基本計画後期改定委員会・幹事会：改定案の調査・検討を行う。
- 事務局：全体調整、資料・情報提供等を行う。

江東区みどりの基本計画改定委員会名簿

職名	氏名	現職等	
委員長	島田 正文	一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問	学識経験者
副委員長	柳井 重人	千葉大学 大学院園芸学研究院 教授	
委員	橋本 敏之	枝川 2・3 丁目町会 会長（町会及び自治会代表）	区民代表
委員	八木澤 あや子	区民応募	
委員	葭葉 抄子	区民応募	
委員	美濃又 哲男	みどりネット Koto 代表	みどり活動団体
委員	須永 俣子	NP0 法人江東区の水辺に親しむ会 理事長	
委員	佐々木 貴智	NEC ソリューションイノベーション株式会社	事業者
委員	渡部 陽介	清水建設株式会社 技術研究所	
委員	小林 英忠	第五砂町小学校校長	小学校校長会
委員	炭谷 元章	政策経営部長	行政
委員	池田 良計	環境清掃部長	
委員	立花 信行	都市整備部長	
委員	石井 康弘	土木部長	
委員	青柳 幸恵	教育委員会事務局次長	

江東区みどりの基本計画改定委員会幹事会名簿

職名	氏名	現職等
幹事長	石井 康弘	土木部長
副幹事長	山田 英典	土木技術担当部長
幹事	大塚 尚史	政策経営部企画課長
幹事	前田 敦史	政策経営部計画推進担当課長
幹事	藤原 慶	総務部営繕課長
幹事	上原 新次	地域振興部地域振興課長
幹事	渡邊 明雄	こども未来部保育政策課長
幹事	西谷 淳	環境清掃部温暖化対策課長
幹事	谷川 寿朗	都市整備部都市計画課長
幹事	大野 俊明	土木部管理課長
幹事	沼田 和也	土木部道路課長
幹事	清田 光晴	土木部河川公園課長
幹事	古木 健人	土木部施設保全課長
幹事	西尾 基宏	教育委員会事務局学校施設課長
幹事	金指 大輔	教育委員会事務局指導室長

② 改定委員会及び幹事会における審議経過

＜令和 6 年度＞

第 1 回

(幹事会：7 月 22 日)

(委員会：8 月 2 日)

- ・ みどりの基本計画改定の概要
- ・ みどりの基本計画改定の視点
- ・ みどりに関する区民アンケート

区民アンケート（みどりに関する区民の意識を把握）

第 2 回

(幹事会：10 月 23 日)

(委員会：11 月 14 日)

- ・ 江東区みどりの基本計画（後期）素案の検討

第 3 回

(幹事会：1 月 9 日)

(委員会：1 月 29 日)

- ・ 江東区みどりの基本計画（後期）案の確認

江東区みどりの基本計画（後期）

5 用語解説

あ

ICT（情報通信技術）

「Information and Communication Technology」の略称。情報や通信に関する技術の総称。

雨庭（レインガーデン）

地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間。

ESG

環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取って作られた概念。気候変動問題等の世界的な課題が顕在化している中、持続的成長を目指す上で重視すべき視点である。

インクルーシブ

「すべてを含んだ」という意味の英語。インクルーシブな広場等は、障害の有無、年齢、国籍等に関係なく誰でも利用できることを目的とする。

インセンティブ

目標達成のためにモチベーションを上げる仕組み。目標達成による見返りや報償等がある。

インバウンド

外国人が日本を訪れる旅行のことを指す。

ウェルビーイング

ウェルビーイング（Well-being）は、well（よい）と being（状態）からなる言葉で、世界保健機構（WHO）によると、「個人や社会の良い状態」を示している。

ウォークブル

居心地が良く歩きたくなるまちの様子。通行やアクセスのための従来の歩行空間に加え、歩行者の滞留やにぎわい空間の創出を目的とした新たな制度や取組が各所で進行している。

海の森

中央防波堤内側埋立地の東側部分に資源循環型の森づくりとともに、市民参加による協働の森づくり（海の森プロジェクト）が進められている。

運河ルネサンス

東京の水辺の魅力向上や観光振興に資するため、運河などの水域利用とその周辺におけるまちづくりが一体となり、地域のにぎわいや魅力を創出することを目的とした、地元が主体となった取組。

えこっくる江東

身近なごみ処理問題から地球全体の環境問題まで、体感しながら学べる学習施設。各種展示コーナーをはじめ、環境学習のためのワークショップルームやビオトープ等が設置されている。

SNS

「Social Networking Service」の略称。インターネット上で交流できる仕組み。

エコロジカルネットワーク

生きものが生息・生育する様々な空間（緑地・水辺等）がつながる生態系ネットワークのこと。

NPO

「Non-Profit Organization」の略称。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

エリアまちづくり

地域住民等の発意やまちづくりの機運、開発動向を捉え、「エリアまちづくり方針」を策定する等、地域主体によるボトムアップ型のまちづくり。

オープンスペース

公園、広場、河川、湖沼、山林、農地等、建物によって覆われていない土地の総称。

オープンデータ

自治体等が保有する各種データのうち、機械判読に適した形式で二次利用が可能なルールにより公開することで、官民協働の推進や地域・経済の活性化、区民参画の推進等に資すると期待されるデータ。

屋上緑化

建物の屋上を利用して緑化空間を創出する手法。建物の断熱等の効果も発揮する。

温室効果ガス

太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあるCO₂やメタン等の大気中のガス。

か

カーボンニュートラル

2020（令和2）年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しました。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減とともに、「樹木等の植物による吸収作用の保全及び強化」を進めていくことが重要である。

街区公園

もっぱら街区に居住する人の利用に供することを目的とする公園で誘致距離250mの範囲内で1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する。

海上公園

東京都が構想した「海上公園計画」に基づき、東京都港湾局が設置・所管する公園。海上公園には、海浜公園・ふ頭公園・緑道公園の3種類がある。

河川護岸緑化

護岸上につる植物を植栽することにより、護岸壁面を植物で被覆し、河川景観の向上やヒートアイランド現象の緩和に寄与する。

カヌー

小型の手漕ぎ船の総称。カヌー競技には、流れのない直線コースで一斉にスタートし、着順を競うスプリントと、激流を下りながら吊されたゲートを順に通過してタイムと技術を競うスラロームがある。

かまどベンチ

災害時に「かまど」として活用できるベンチ。

カヤック

カヌーの一種であり、甲板のないオープンデッキのカナディアンカヌーに対して、甲板のあるクローズドデッキのものをカヤックという。

官民連携

行政（Public）が行う各種行政サービスを、行政と民間（Private）が連携（Partnership）し、民間の持つ多種多様なノウハウ・技術を活用することにより、行政サービスの向上、財政資金の効率的使用や行政の業務効率化等を図ろうとする考え方や概念。

気候変動

気温や雨の降り方等が、数十年を超える長期にわたって変化する現象。気候変動は、太陽活動の変化等による自然現象の場合もあるが、現在問題となっている猛暑日の増加、集中豪雨等の頻繁な発生等は、人間の活動が主な要因となっている。

北砂三・四・五丁目地区まちづくり方針

平成 29 年 9 月に地元住民が組織する「北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会」から提出された「まちづくり提案書」を受け、本地区におけるまちづくりの取組を官民が連携して進めるうえでの指針として定め、安全で魅力的なまちづくりの実現を目指すもの。

クールスポット

緑陰やミスト等により周囲より気温を低くした領域。

区民農園

一定の期間を通じて、区民が利用できる農園。辰巳区民農園、城東区民農園、夢の島区民農園の 3 箇所が設置されている。

グリーンインフラ

国では、「社会資本整備、土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生きものの生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるもの」を、「グリーンインフラ」としている。公共施設においては、公園や街路樹等がグリーンインフラの代表としてあげられるが、自宅や共同住宅の敷地内の緑化も含まれている。

景観計画

「景観法」に基づき「景観行政団体」が定める良好な景観の形成に関する計画のこと。景観まちづくりを進める基本的な計画として、景観形成の方針、行為の制限に関する事項等を定めることができる。

景観重点地区

地域の特色をあらわしたまちなみをつくっている地域やこれからの江東区の都市景観を創造していく地域等を、重点的に景観の誘導や保全を図るために指定される地区。「深川万年橋景観重点地区」、「亀戸景観重点地区」、「深川門前仲町景観重点地区」が指定されている。

公園施設長寿命化計画

国が策定するインフラ長寿命化基本計画における個別施設計画の 1 つであり、都市公園を対象とした長寿命化計画。各公園別の健全度調査を踏まえた、具体的な対策、実施時期等を取りまとめた計画。

江東区環境基本計画

江東区の環境の保全に関する総合的・長期的な方針を示し、区民、事業者、区のすべての主体が、それぞれの立場から環境負荷低減に取り組むためのもので、「江東区基本構想」、「江東区長期計画」を環境面で支えるものであり、江東区環境基本条例に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画。

江東区基本構想

江東区の将来像を定めた、まちづくりにおける基本的な指針。平成 21 年に策定された。

江東区公共施設等総合管理計画

インフラ資産を含めた公共施設等の計画的な維持管理・更新等を推進するための基本方針となる計画。

江東区C I Gビジョン

基本構想に掲げた「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」の実現を目指し、「みどりの中の都市：CITY IN THE GREEN」の更なる推進を目指すため、「まちづくり」「文化創造」「区民生活」「協働」「基金活用」の5つのビジョンを定めたが、その後、本計画に統合されている。

江東区長期計画

江東区のまちづくりと区政運営の具体的指針となるものであり、基本構想に掲げる区の将来像を実現するための具体的な方向性を明確にする総合計画。各分野の部門計画の上位に当たるものとして、重点方向を調整する際の指針となり、各年度の予算編成の基礎となるもの。

江東区文化観光ガイド

所定の養成カリキュラムを終了した区民を中心とする有志が案内役（ガイド）を務め、江東区内の観光スポットや多種多様な地域資源を紹介するサービス。（江東区観光協会）

江東区みどりの基本計画推進会議

令和2年3月に「江東区みどりの基本計画」を改定した際に、計画を着実に推進していくため、学識経験者、区民、事業者、NPO、行政等、多様な主体で構成された組織で、本計画においても進捗管理を行う。

江東区みどりの基本計画推進会議部会

江東区みどりの基本計画推進会議の設置目的である「みどりの基本計画の進捗管理及び評価並びに江東区における緑化の推進」のうち、更なる緑化の推進を図るために必要な調査（実践を含む）、意見交換、提案等を行うため、推進会議の承認を得て設置される。

江東区立都市公園条例

江東区立の都市公園の設置及び管理並びに特定公園施設の設置に関する基準について定めた条例。

こうとう情報ステーション

区民や来庁者の江東区への愛着や理解を深めていただくために開設した、区役所内のスペース。区の見所、イベント等の紹介、区や都が発行するチラシやリーフレットの頒布、区の行政情報の公開、区が発行している書籍等の販売を行っている。

こうとう伝統と未来の応援寄附金

江東区の良き伝統を継承・発展させ、次の世代が誇ることのできる江東区を応援したい方々の想いを、寄附という形で実現させる制度。

国土形成計画

「国土形成計画」とは、国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画であり、日本全国の区域について定めた全国計画と、8つのブロック単位の地方ごとに定める広域地方計画から構成されており、次に掲げる事項に関するものをいう。

- ① 土地、水その他の国土資源の利用及び保全
- ② 海域の利用及び保全（排他的経済水域及び大陸棚に関する事項を含む）
- ③ 震災、水害、風害その他の災害の防除及び軽減
- ④ 都市及び農山漁村の規模及び配置の調整並びに整備
- ⑤ 産業の適正な立地
- ⑥ 交通施設、情報通信施設、科学技術に係る研究施設その他の重要な公共的施設の利用、整備及び保全
- ⑦ 文化、厚生及び観光に関する資源の保護並びに施設の利用及び整備
- ⑧ 国土における良好な環境の創出その他の環境の保全及び良好な景観の形成

国連サミット

2015年に開催された「国連持続可能な開発サミット」の略称。環境問題と持続可能な開発に関する国連主催の国際会議であり、持続可能な開発目標（SDGs）が採択された。

コミュニティ

一般的には地域社会や共同体をいい、町会や自治会等の地縁からなるものやNPOのような一定のテーマを持った団体等、人と人の多様なつながりを指す。

コミュニティガーデン活動

公園や区道に区が設置するコミュニティガーデンで草木の育成管理を行うことで、景観の向上を図り、参加者相互の交流を深める活動。

昆明・モンテリオール生物多様性枠組

2020年までの国際目標であった愛知目標に代わる、2021年以降の新たな国際目標。2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議で採択された。

さ

再開発等促進区

土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の増進とを図るため、地区計画において一体的かつ総合的な市街地の再開発又は開発整備を実施すべき区域。

サップ

サーフボードの上に立って、パドルを使って海や川等の水面を漕いで進むアクティビティ。

サード・プレイス

アメリカの社会学者、オルデンバーグが提唱した概念。家庭を第一の場所、職場や学校を第二の場所としたときの、それ以外の公共的であり、創造的な交流が生まれる居心地の良い場のことを指す。サード・プレイスは公園やカフェ等が例としてあげられている。

CIG推進地区

都市緑地法第4条2項8号に規定する地区。

潮風の散歩道

東京都港湾局で管理している運河の護岸上を開放するため、植栽や防護柵等を整備することにより散策できるようにした道。

止水域

池等の水の流れが極めて緩やかな水域。

持続可能な開発目標（SDGs）

SDGs（エスディー・ジーズ）は、2015（平成27）年の国連サミットで採択された17の国際目標で、2030年までに持続可能でよりよい社会の実現に向けて、国内外において、目標達成に向けた取組が行われている。

指定管理者制度

平成15年の地方自治法改正に伴い創設された、公の施設について地方公共団体の指定を受けた指定管理者が、その管理を代行する制度。民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図ることを目的としている。

シティプロモーション

一般的に、地域外・地域内向けのプロモーション活動のことであり、自治体の認知度向上、ブランド確立による地域活性化、移住促進等を目的とする。

児童遊園

児童の健全な発達に寄与することを目的として整備された、児童が安全に遊べる施設。

市民緑地認定制度

民有地を、地域住民の利用に供する緑地として設置・管理する者が、設置管理計画を作成・申請し、市区町村長の認定を受けて、一定期間当該緑地を設置・管理・活用する制度。

集中豪雨

数時間にわたって強く降り、100 mmから数百mmの雨量をもたらす雨。

樹勢

樹木の生育状態や勢いのこと。

宿根草

冬には、地上部が枯れるが、根等の地下部は枯れずに越冬し、春になると発芽・開花する多年草。

首都直下地震

大きい場合でも地震の規模は概ねマグニチュード7程度で、地震の震源が陸域の下にあるものは「直下地震」と呼ばれ、その中でも首都地域の下で発生する地震は「首都直下地震」と呼ばれている。

しゅんせつ

海底・河床の土砂を取り除く作業のこと。

親水公園

河川や運河等の水辺沿いにおいて、人々が水と親しみ、憩うことができる空間として整備した公園。江東区のほとんどの親水公園は、川や運河を埋立てつくられた公園で、その特徴や歴史的経緯を活かした水路や池等を整備している。

浸透施設

雨水を地中へ分散、浸透させることにより流出抑制を図る施設。

森林環境贈与税

都道府県・市区町村が、それぞれの地域の実情に応じて森林整備及びその促進に関する事業を幅広く弾力的に実施するための財源として活用されるもの。令和6（2024）年度から国民一人あたり千円が森林環境税として課税され、その税収が森林環境譲与税として都道府県・市区町村へ譲渡される。

スーパー堤防

河川後背地の再開発等と併せて堤防背面の計画的な盛土を行い、耐震性及び親水性の向上を図った堤防。

生態系

環境作用、環境形成作用、生物相互作用によって動的に統合された生物群集と無機環境からなるひとつの機能系を表す概念。生物群集は生産者・消費者・分解者により、無機環境は大気・水・土壌・光・栄養塩類等の無機物により構成される。

生物多様性

生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。特有の個性を持つ様々な生きものが、様々な異なる環境の中で、互いの個性を活かしながら直接的・間接的につながり、支えあっていることで、たくさんの種類の生きものがいるだけではなく、様々な環境があること、そして同じ種類の生きものの中でも様々な遺伝子があることとされている。一般には、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性という3つの階層で多様性を捉え、それぞれ保全が必要とされている。

生物多様性地域戦略

生物多様性基本法に基づき地方公共団体が策定する、生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画。

接道部緑化

道路境界線から 10m までの範囲の敷地を緑化すること。ただし、道路と緑地の間に遮蔽物を設けないこと。

た

脱炭素社会

地球温暖化の原因となるCO₂を始めとする温室効果ガスをなくして「ゼロ」にすること。また、それを目指す社会のこと。

田んぼの学校

横十間川親水公園内にある田んぼで、ボランティア団体「江東田んぼクラブ」の企画・運営により、昔ながらの農機具を用いて、土づくりから田植え・稲刈り・脱穀・収穫したもち米を精米し餅作りまで一連の作業を体験することができる。

地球温暖化

化石燃料の消費で生ずる二酸化炭素（CO₂）をはじめとする温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇すること。

貯留施設

雨水を一時的に貯留することにより流出抑制を図る施設。

テレワーク

ICT（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。自宅等での在宅勤務、移動中のモバイルワーク、テレワーク施設でのワーク等、様々な取組方法がある。

特別緑地保全地区制度

都市における良好な自然的環境となる緑地において、建築行為等一定の行為の制限等により現状凍結的に保全する制度。

都市計画公園

都市計画法に基づいて計画された公園。防災や避難場所の確保、ヒートアイランド現象の緩和等、都市が抱える課題の解決を図ると同時に、緑地が環境保全や住民の健康、文化的な生活に欠かせないものであるという観点から整備を目指すもの。

都市計画マスタープラン

都市計画法第 18 条の 2 で定められている、区市町村の都市計画に関する基本的な方針。住民に最も身近な区市町村が、住民の意見を反映させながら、都市づくりの具体的な将来像、地域における課題と整備方針等を定める。

都市公園法

都市公園の健全な発達を図り、公共の福祉の増進に資することを目的として、都市公園の設置及び管理に関する基準等を定めた法律。

都市緑地法

良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与することを目的として、都市における緑地の保全及び緑化の推進に関して必要な事項を定めた法律。

な

ネイチャーポジティブ

ネイチャーポジティブとは、日本語訳で「自然再興」といい、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを指す。ネイチャーポジティブは「みんなで我慢する」のではなく、「生きものを含めたみんなで豊かになる」ための目標。

ネイチャーリーダー

区の目指す自然環境保全行政の趣旨に賛同し、自らが課題解決のために向けて活動することができる人で登録された人。区内の公園や学校に設置したポケットエコスペースの管理や環境教育の実践等の活動を行っている。

は

Park-PFI

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度であり、都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る新たな整備・管理手法。

バリアフリー化

高齢者や障害者が社会生活をしていく上での、物理的、精神的な障壁（バリア）を取り除こうとする取組。

ヒートアイランド現象

都市の多くが人工的構造物に覆われて緑被地が少ないこと。人々の生活や産業活動に伴う人工熱の放出、大気汚染等が原因となり、都市部が郊外に比べて気温が高くなる現象。

ビオガーデン

ビオトープ（ドイツ語：Biotop）の要素を取り入れた庭園。

ビオトープ

「生きもの（Bio）がありのままに生息活動をする場所（Top）」という意味のドイツの造語。

不燃化特区

木密地域のうち、特に重点的・集中的に改善を図る地区を指定し、都と区が連携して不燃化を強力に推進して「燃え広がらない・燃えない」まちづくりを進める制度。

プラットフォーム

人やサービス等を結びつける場。

プレーパーク

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに禁止事項を極力少なくしたこどもの遊び場で、冒険遊び場とも呼ばれている。

壁面緑化

建築物や工作物の壁面を緑化する手法。修景効果や温熱環境の改善効果も発揮する。

バランダガーデニング講座

「江東区C I Gビジョン」に基づき、みどりに親しみ、みどりを育むライフスタイルを定着させることを目指し、地域での緑化活動やコミュニティづくりをはじめることができる人材を育てる講座。

ベランダ緑化

マンション等のベランダでみどりを増やすこと。

防火水槽

防火水槽は地中に埋め込まれた水槽で、消防隊や消防団、地域の防災市民組織等が活用する。

防災船着場

災害や緊急時に物資や人員の輸送に活用できるようにした船着場。

ポケットエコスペース

小さな池、草地、樹木等を組み合わせてつくった、生きもののたちの庭のこと。

保護樹木・保護樹林制度

基準形状以上の樹木や樹林を保護対象とし、管理者に助成金を交付する制度。

ポテンシャル評価

潜在的な可能性を評価すること。例えば、生息地のポテンシャル評価とは、その環境である種が生息することができる可能性について評価することを指す。

堀割

地面を掘って作った水路。

ま

まちづくりGX

都市・地域構造や交通システムは中長期的にCO₂排出量に影響を与え続けることから、都市分野においても脱炭素に資する都市・地域づくりを推進する取組。

マルシェ

フランス語で「市場」のこと。

マンホールトイレ

下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの。

水辺の散歩道

水辺環境を活かした都市景観の創出と連続した散歩道として、河川の耐震護岸上を区民に親しまれる園路やみどり豊かな河川並木等により緑化した道。

みどり・温暖化対策基金

水と緑豊かな地球環境にやさしいまちを目指し、緑化の推進及び温暖化対策等に寄与する事業の財源に充てるために設置している基金。

や

ユニバーサルデザイン

障害の有無、年齢、性別、人種等に係らず、多様な人が利用しやすいよう、都市や生活環境をデザインする考え方。

ライフスタイル

どのような価値観を持ち、どのような生活を送るかといった生活様式。

ランドマーク

景観構造上の核となり、住民が日常生活や生活意識の中で移動する際の目印となるもの。

リスクマネジメント

公園・緑地の日常的な利用の中で発生しうる、倒木や落枝、遊具の故障等の利用者への危険性を把握した上で、適切な維持管理手法によって危険性を最大限排除する管理の考え方。

リノベーション

建築・不動産（公共空間も含む）の改修等によって新しい付加価値を組み込むこと。

緑視率

日常生活の実感として捉えられる緑の量として、各調査地点で撮影した写真の中に占める緑の割合。

緑被率

ある地域または地区において、樹木や草花等の緑に覆われた部分（緑被地）の占める面積割合。緑の量を把握する手法として広く用いられている。

緑化指導

一定規模以上の敷地において建築行為を行う際、地上部や屋上部、接道部等、基準に適合した緑化が義務づけられている。江東区では、250 ㎡以上の敷地において建築行為を行う場合に義務付けられている。

緑化助成制度

みどりの条例に基づき、屋上や生垣等の緑化に対して、工事費用の一部を助成する制度。

臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン

「臨海副都心まちづくり推進計画」に基づき、まちづくりの誘導を行うため、臨海副都心全体について開発誘導の基本事項を示すもの。

臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン

「臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン」は「臨海副都心まちづくり推進計画」で定められていない事項につき、当地区の民間地権者及び地元区との協議を踏まえ、当地区の開発にかかわる都の方針を定めたもの。

レガシー

英語で「遺産」のこと。

レジリエンス

自然災害等の変化に対する社会の回復力や弾力性、強靱化等、外的な刺激に対する柔軟性を表す概念。

レッドリスト

絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト。